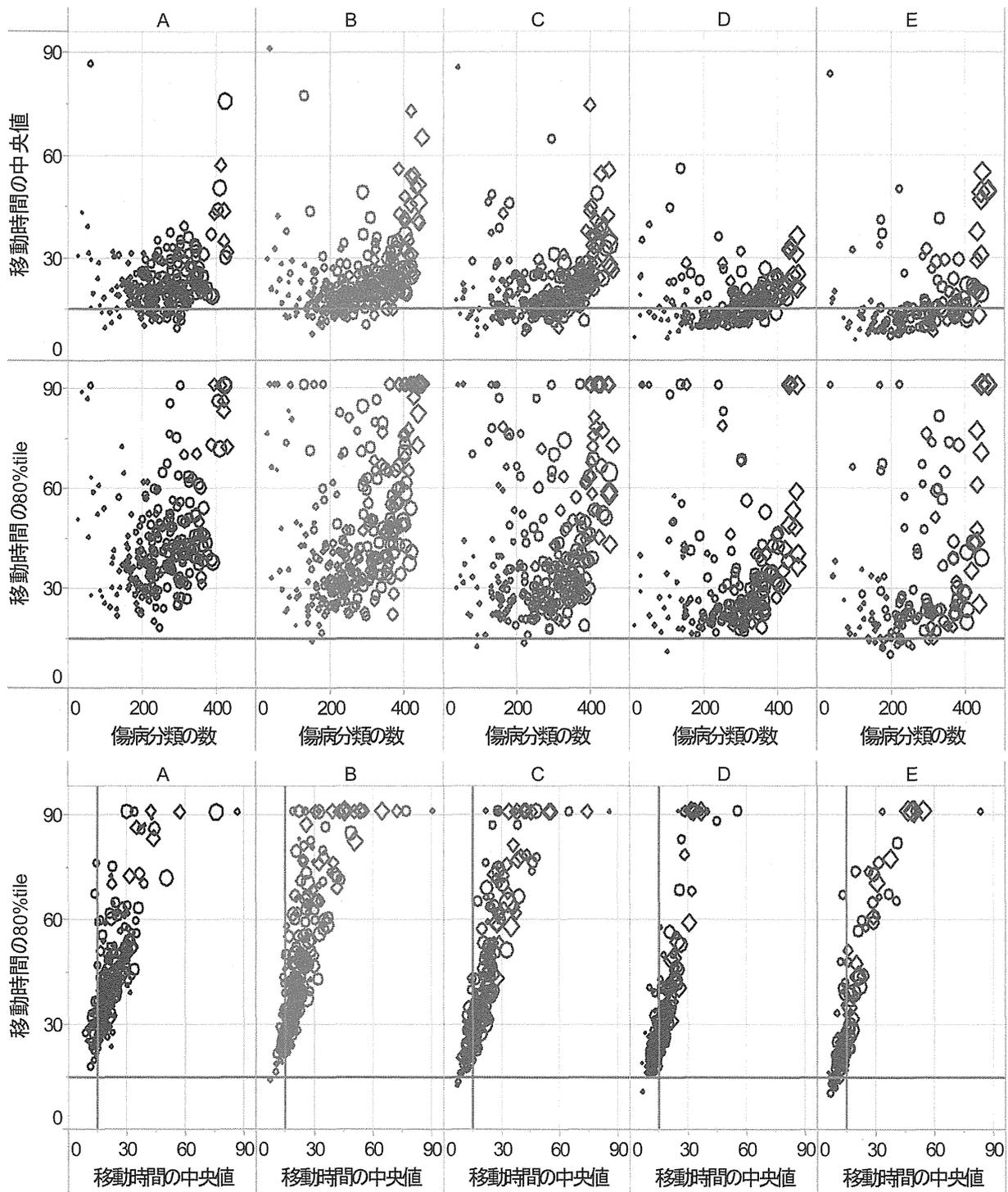


図2 病院の診療圏

病院の所在地の人口規模別：傷病分類数と移動時間の中央値、80パーセンタイル



◆は平成 15 年度 DPC 対象病院(特定機能病院)、○はその他の病院

マークの大きさは症例数を反映

30分診療圏	区分	A	B	C	D	E
		人口(万人)	≤10万人	≤25万人	≤60万人	≤130万人
参考：全人口に占める割合(%)		21%	18%	23%	19%	20%

図3 診療圏の人口推計ポートフォリオの例

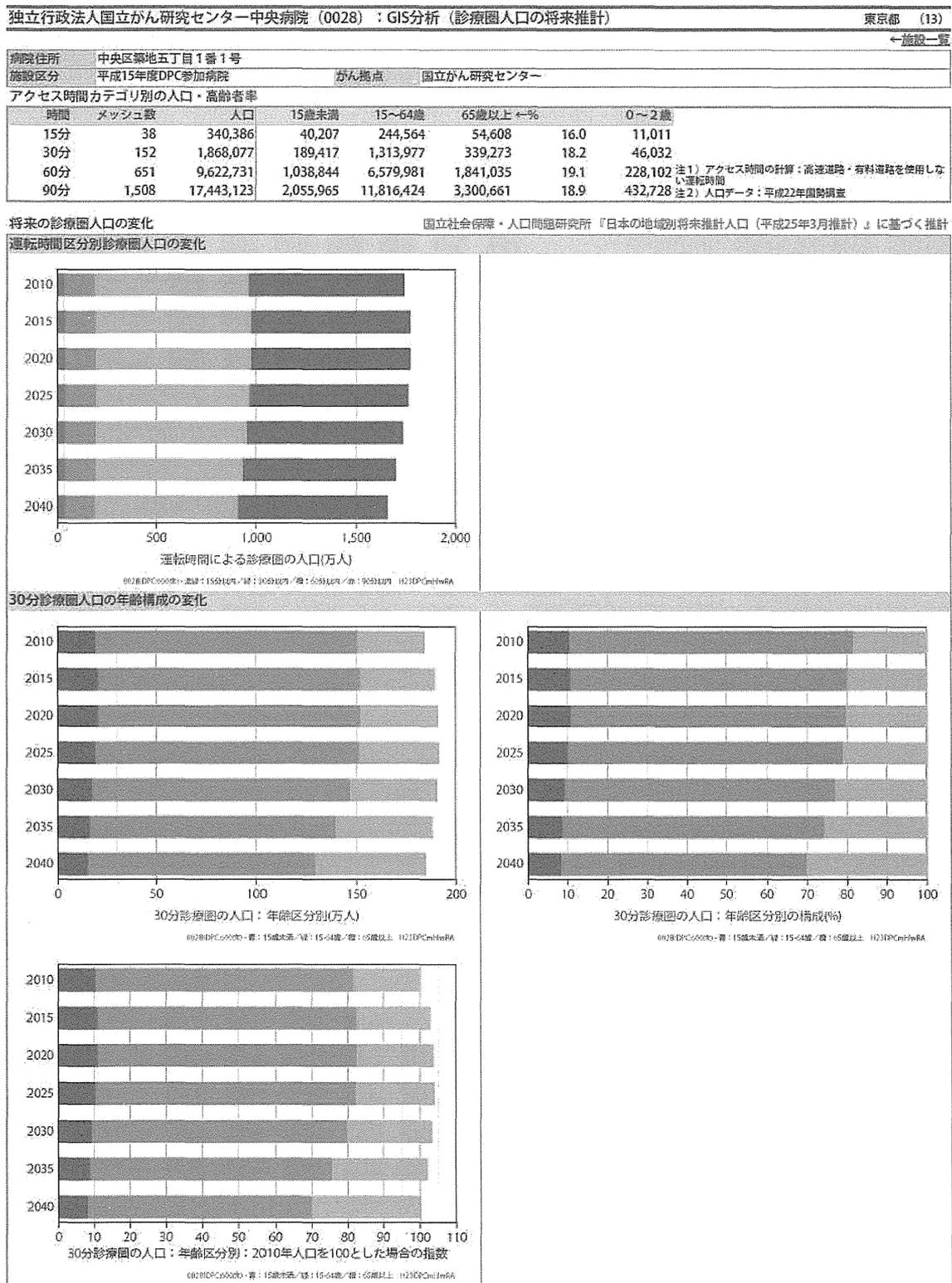


図4 QlikView による診療圏の人口推計の可視化

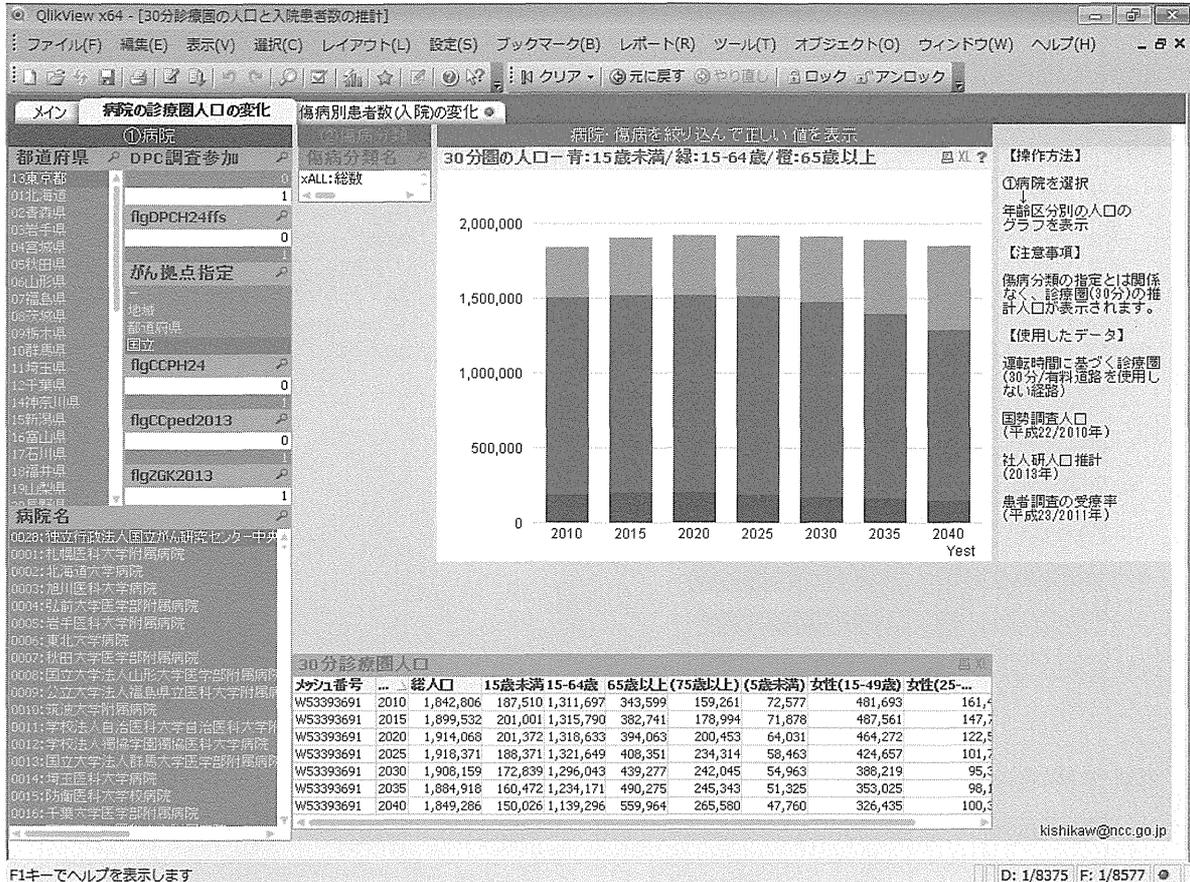


図5 QlikView による診療圏の患者推計の可視化

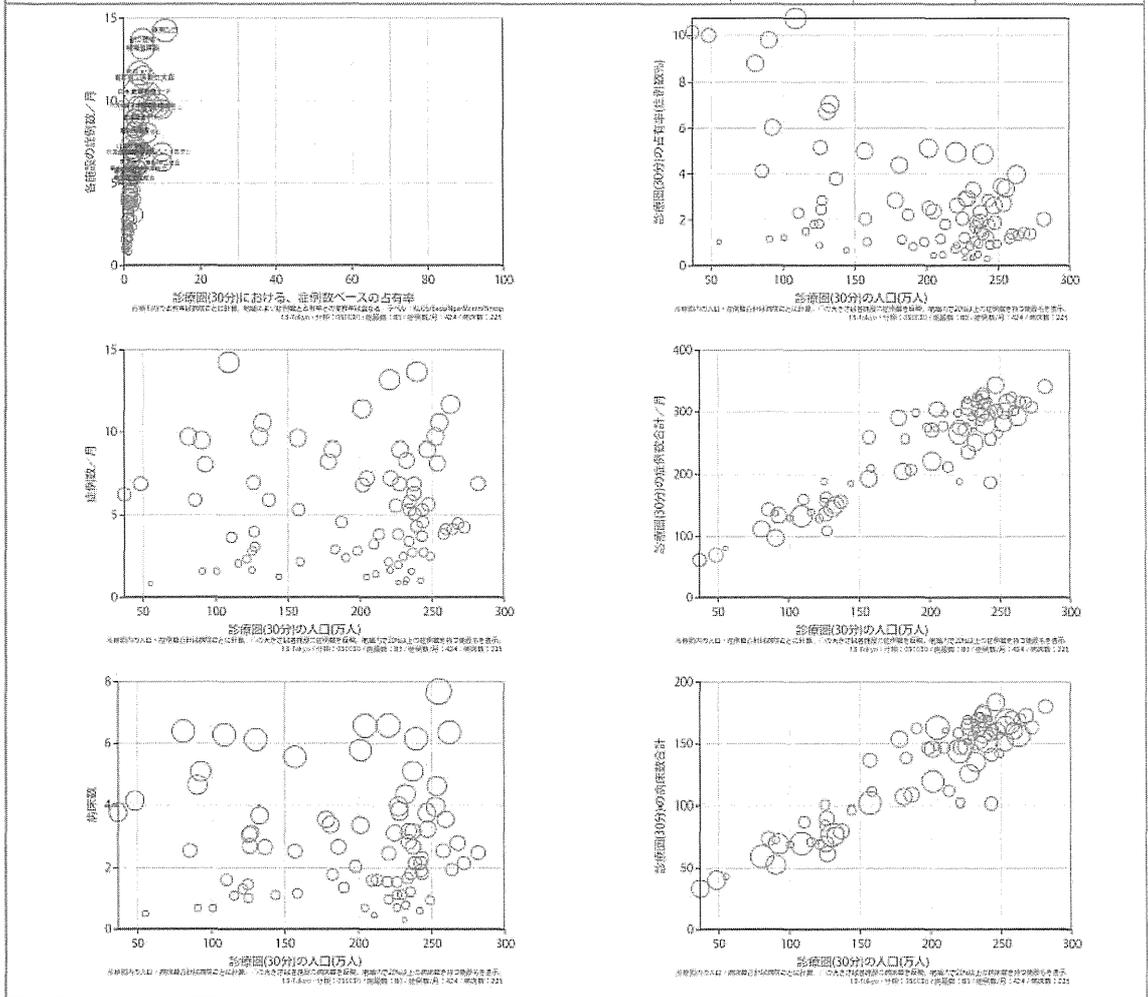


図6 DPC 調査データを利用した地域への貢献度の可視化

東京都(13)/050030：急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞

←戻る | ↑主要傷病のリスト | ↑DPC6桁分類リスト | ↑施設一覧

順位	施設名	症例/月	累積	占有率	病床数	累積	占有率	ALOS	←相対	人口	施設数
1	公益財団法人日本心臓血管研究振興会附属神原記念病院 (1531)	14.3	3.4	10.8	6.3	2.8	9.0	13.4	0.77	108.9	23
2	東京都立墨堤病院 (0864)	13.7	6.6	4.9	6.2	5.5	4.1	13.7	0.78	239.5	52
3	綾瀬循環器病院 (1569)	13.2	9.7	5.0	6.6	8.4	4.6	15.2	0.87	220.5	48
4	帝京大学医学部附属病院 (0026)	11.7	12.4	4.0	6.4	11.3	4.1	16.6	0.95	262.5	56
5	東邦大学医療センター大森病院 (0024)	11.4	15.1	5.1	5.8	13.8	4.8	15.4	0.88	201.6	45
6	日本大学医学部附属板橋病院 (0025)	10.6	17.6	3.4	7.7	17.2	4.6	22.1	1.26	255.0	60
7	日本赤十字社東京都支部武蔵野赤十字病院 (0196)	10.6	20.1	7.1	3.7	18.9	4.8	10.6	0.61	132.9	28
8	医療法人徳洲会東京西徳洲会病院 (0896)	9.8	22.4	8.8	6.4	21.7	10.8	20.0	1.14	80.9	17
9	東京都立多摩総合医療センター (0892)	9.8	24.7	6.7	6.1	24.4	8.0	19.2	1.09	130.7	25
10	医療法人社団明芳会イムス荻野ハートセンター (1570)	9.8	27.0	3.5	4.0	26.2	2.6	12.4	0.71	252.5	51
11	杏林大学医学部付属病院 (0027)	9.7	29.3	5.0	5.6	28.7	5.4	17.6	1.00	156.9	37
12	東海大学八王子病院 (0462)	9.5	31.5	9.8	4.6	30.7	8.8	14.9	0.85	90.4	17
13	同愛記念病院 (0863)	9.0	33.6	2.9	3.8	32.4	2.3	13.0	0.74	228.0	58
14	社会福祉法人三井記念病院 (0855)	9.0	35.8	2.6	3.8	34.1	2.1	12.8	0.73	246.5	63
15	社会福祉法人仁生社江戸川病院 (0193)	9.0	37.9	4.4	3.4	35.6	3.2	11.5	0.65	180.8	36
16	医療法人財団狹窪病院 (0875)	8.3	39.8	3.3	4.4	37.6	3.2	15.9	0.91	232.3	47
17	財団法人聖路加国際病院 (0187)	8.3	41.8	2.8	3.6	39.1	2.3	13.2	0.75	178.1	56
18	独立行政法人国立病院機構東京医療センター (0467)	8.2	43.7	2.7	4.6	41.2	2.8	17.2	0.98	253.5	60
19	独立行政法人国立病院機構災害医療センター (0904)	8.1	45.6	6.0	5.1	43.4	7.3	19.2	1.09	92.8	22
20	日本医科大学付属病院 (0021)	7.3	47.3	2.4	6.6	46.4	4.0	27.6	1.58	204.9	57
リスト外の60施設の合計		223.6	52.7	-	120.7	53.6	-	-	-	-	-
都道府県内の80施設の全体		424.4	-	-	225.1	-	-	16.2	-	-	-



DPC/PDPS 分類ポートフォリオ

研究分担者 石川 ベンジャミン 光一

国立がんセンター がん対策情報センター がん統計研究部 がん医療費調査室長

研究要旨

DPC/PDPS による急性期入院医療の包括評価制度の下での患者の分類と支払いについて理解を深めることを目的として、DPC 分類の骨格を成す定義表の情報(傷病名、手術・処置等)と、PDPS での支払い分類および入院日数別の包括払い額についての情報をとりまとめた DPC/PDPS 分類ポートフォリオの作成を行った。

A. 研究目的

DPC/PDPS による急性期入院医療の包括評価制度の下での患者の分類と支払いについて理解を深めることを目的として、DPC 分類の骨格を成す定義表の情報(傷病名、手術・処置等)と、PDPS での支払い分類および入院日数別の包括払い額についての情報をとりまとめた資料の作成を行った。

B. 研究方法

1□ データ

厚生労働省が「診断群分類 (DPC) 電子点数表について」¹で提供している「診断群分類 (DPC) 電子点数表 (正式版) [2,705KB]」²を利用した。

2□ 方法

Microsoft Excel 形式で公開されている点数表の情報に基づき、Microsoft Access および Microsoft SQL Server を利用してデータベース化した。また、入院日数別の包括払い額については、Stata を利用して入院 1 日あたり/1 入院あたりのグラフを作成した。その後、

Microsoft Active Server Pages による web application として次の 4 種類のページを作成した。

①**傷病分類の一覧**：MDC 別の傷病分類(DPC 6 桁)の一覧

②**支払分類リスト**：傷病分類別の支払分類 (DPC14 桁)の一覧

③**定義表項目**：傷病分類ごとに定義されている傷病名・定義副傷病名と手術・処置等

④**支払額のグラフ**：入院日数別の包括払い額 (入院 1 日あたり/1 入院あたり)

なお、配布用のポートフォリオについては Adobe Acrobat の web capture 機能を利用して PDF ファイルを作成している。

C. 研究結果

作成したポートフォリオのサンプルを図 1 から図 4 に示す。

平成 26 年度版 DPC 分類では、2,873 の DPC 分類のうち、出来高払いとなる 564 分類を除く 2,309 分類が PDPS による包括払いの対象となっている。また、点数設定方式については、方式 A が 942 分類(40.8%)、入院初期の医療資源投入量が多い B が 1131 分類(49.0%)、入院初期の医療資源投入量が少ない C が 208 分類(9.0%)であり、前回の改定から導入された D は

¹ <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000039920.html>

² <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000040848.zip>
ファイル名：○電子点数表 26 年度版 v1.xls

28 分類(1.2%)となっていた。

D. 考察

1. 今後の改善のポイント

DPC/PDPS 制度においては、告示において包括払いの対象となる診断群分類の点数(①診断群分類点数表)が示され、出来高払いを含む DPC 分類については通知の別表として②定義テーブルおよび③ツリー図が示される。そして、これら 3 つの資料を情報システム等で取り扱うためのマスタ④診断群分類 (DPC) 電子点数表が配布されている。本研究では①から④で示されている情報を統合して DPC/PDPS 分類ポートフォリオを作成した。傷病分類(DPC 6 桁)あるいは支払分類(DPC14 桁)ごとにページを作成することにより、個別の分類の状況を理解するための資料としては可読性を高めることができた。今後は、分類の軸となっている傷病や診療行為等から「逆引き」を行い、分類間の関連性について理解するための索引機能を充実させることで、より価値を高めることができると考えられる。

2. CCP matrix の導入に向けた検討

これまでの DPC 分類の改定では、②定義テーブルにより分類で使用する項目の見直しを行い、医療資源投入量と臨床医学的な視点から③ツリー図により分類のとりまとめを行った後に、データに基づき①診断群分類点数表を定める形で作業が行われてきた。今回の DPC/PDPS 分類ポートフォリオでは、傷病分類別に支払分類の一覧を作成することにより図 2 のような形で③と①の間に 1 対 1 のシンプルな対応表を示しているが、現在検討が行われている CCP matrix では副傷病などによる分岐が多数追加されるため、樹形図を利用した表現である③ツリー図の行数は増加し、①診断群分類点数表との間に多対 1 の対応関係が生じる。今後は、ツリー図で表現されてきた論理的

な分類の区分と、CCP matrix による臨床的な分類の類似性との間を橋渡しする対応表の作成についての検討を行い、わかりやすい表現方法を準備することで CCP matrix の円滑な導入に役立てることができると考えられる。

E. 結論

DPC/PDPS による急性期入院医療の包括評価制度の下での患者の分類と支払いについて理解を深めることを目的に、DPC 分類の骨格を成す定義表の情報(傷病名、手術・処置等)と、PDPS での支払い分類および入院日数別の包括払い額についての情報のとりまとめを行い、DPC/PDPS 分類ポートフォリオとして可読性の高い資料を作成した。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

特になし

2. 実用新案登録

特になし

3. その他

特になし

図1. MDC 別の傷病分類(DPC6桁)の一覧

DPC6桁分類一覧		H26DPC分類	
MDC分類			
01: 神経系疾患	02: 筋骨格系疾患	12: 血液・造血器・免疫臓器の疾患	
02: 眼科系疾患	08: 皮膚・皮下組織の疾患	14: 新生児疾患、先天性奇形	
03: 耳鼻咽喉科系疾患	09: 乳房の疾患	15: 小児疾患	
04: 呼吸器系疾患	10: 内分泌・栄養・代謝に関する疾患	16: 外傷・熱傷・中毒	
05: 循環器系疾患	11: 腎・泌尿系疾患及び男性生殖系疾患	17: 精神疾患	
06: 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	12: 女性生殖系疾患及び産婦人科疾患・異常妊娠分娩	18: その他	
番号	リンク	DPC6	名称
MDC01: 神経系疾患			
1	支店分類 定額表項目	010010	脳腫瘍
2	支店分類 定額表項目	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤
3	支店分類 定額表項目	010030	未破裂脳動脈瘤
4	支店分類 定額表項目	010040	非外傷性頭蓋内血腫 (非外傷性硬膜下血腫以外)
5	支店分類 定額表項目	010050	非外傷性硬膜下血腫
6	支店分類 定額表項目	010060	脳梗塞
7	支店分類 定額表項目	010061	一過性脳虚血発作
8	支店分類 定額表項目	010069	脳卒中の続発症
9	支店分類 定額表項目	010070	脳血管障害
10	支店分類 定額表項目	010080	脳脊髄の感染を伴う炎症
11	支店分類 定額表項目	010083	結核性髄膜炎、髄膜脳炎
12	支店分類 定額表項目	010086	プリオン病
13	支店分類 定額表項目	010089	亜急性硬化性全脳炎
14	支店分類 定額表項目	010090	多発性硬化症
15	支店分類 定額表項目	010100	脱髄性疾患 (その他)
16	支店分類 定額表項目	010110	免疫介在性・炎症性ニューロパチー
17	支店分類 定額表項目	010111	遺伝性ニューロパチー
18	支店分類 定額表項目	010120	特発性 (単) ニューロパチー
19	支店分類 定額表項目	010130	重症筋無力症
20	支店分類 定額表項目	010140	筋疾患 (その他)
21	支店分類 定額表項目	010155	運動ニューロン疾患等
22	支店分類 定額表項目	010160	パーキンソン病
23	支店分類 定額表項目	010170	基底核等の変性疾患
24	支店分類 定額表項目	010180	不随意運動
25	支店分類 定額表項目	010190	遺伝性運動失調症
26	支店分類 定額表項目	010200	水頭症
27	支店分類 定額表項目	01021x	認知症
28	支店分類 定額表項目	010220	その他の変性疾患
29	支店分類 定額表項目	010230	てんかん
30	支店分類 定額表項目	010240	片頭痛、頭痛症候群 (その他)
31	支店分類 定額表項目	010250	アルコール依存症候群
32	支店分類 定額表項目	010260	ワエルニツケ脳症
33	支店分類 定額表項目	010270	中毒性脳症
34	支店分類 定額表項目	010280	ジストニー、筋無力症
35	支店分類 定額表項目	010290	自律神経系の障害
36	支店分類 定額表項目	010300	睡眠障害
37	支店分類 定額表項目	010310	脳の障害 (その他)
MDC02: 眼科系疾患			
38	支店分類 定額表項目	02001x	角膜・眼及び付属器の悪性腫瘍
39	支店分類 定額表項目	020040	網膜芽細胞腫
40	支店分類 定額表項目	02006x	眼の良性腫瘍
41	支店分類 定額表項目	020080	眼窩腫瘍
42	支店分類 定額表項目	020100	涙嚢腫瘍
43	支店分類 定額表項目	020110	白内障、水晶体の疾患
44	支店分類 定額表項目	020120	急性前部ぶどう膜炎
45	支店分類 定額表項目	020130	霰粒病
46	支店分類 定額表項目	020140	網脈絡膜炎・網膜炎・急性網脈絡死
47	支店分類 定額表項目	020150	斜視 (外傷性・癒着性を除く。)
48	支店分類 定額表項目	020160	網膜剥離
49	支店分類 定額表項目	020180	糖尿病性増殖性網膜症
50	支店分類 定額表項目	020190	未熟児網膜症
51	支店分類 定額表項目	020200	黄斑、後極変性
52	支店分類 定額表項目	020210	網膜血管閉塞症
53	支店分類 定額表項目	020220	緑内障
54	支店分類 定額表項目	020230	眼瞼下垂
55	支店分類 定額表項目	020240	硝子体疾患
56	支店分類 定額表項目	020250	結膜の障害
57	支店分類 定額表項目	020270	強膜の障害
58	支店分類 定額表項目	020280	角膜の障害

図2. 傷病分類別の支払分類(DPC14 桁)の一覧

010010：脳腫瘍：支払分類										H26DPC分類							
										↑MDC01							
番号	DPC6	入院目的	年齢等	手術	処置等1	処置等2	副傷病	重症度等	DPC14	支払方法	入院期間I	入院期間II	入院期間III	点数I	点数II	点数III	
1	010010	x	x	01	x	8	x	x	010010xx01x8xx	包括-B	48	97	189	4,024	2,974	2,528	1
2						7	x	x	010010xx01x7xx	包括-C	35	69	113	3,505	2,868	2,581	2
3						6	x	x	010010xx01x6xx	包括-A	32	63	139	3,435	2,539	2,158	3
4						5	1	x	010010xx01x51x	包括-B	34	72	168	3,020	2,273	1,932	4
5							0	x	010010xx01x50x	包括-B	20	41	81	3,154	2,331	1,982	5
6						4	x	x	010010xx01x4xx	包括-C	34	68	119	3,030	2,479	2,231	6
7						3	x	x	010010xx01x3xx	包括-B	26	53	98	2,606	1,926	1,637	7
8						2	x	x	010010xx01x2xx	包括-B	17	35	72	3,180	2,350	1,998	8
9						1	1	x	010010xx01x11x	包括-A	29	58	135	3,075	2,273	1,932	9
10							0	x	010010xx01x10x	包括-A	15	30	63	2,960	2,188	1,860	10
11						0	1	x	010010xx01x01x	包括-A	18	36	74	2,784	2,058	1,749	11
12						0	0	x	010010xx01x00x	包括-A	11	21	38	2,903	2,145	1,824	12
13					97	x	8	x	x	010010xx97x8xx	出来高						13
14						7	x	x	010010xx97x7xx	包括-C	33	66	122	3,436	2,811	2,530	14
15						6	x	x	010010xx97x6xx	包括-B	22	46	109	3,230	2,421	2,058	15
16						5	x	x	010010xx97x5xx	包括-A	23	45	108	3,136	2,318	1,970	16
17						4	x	x	010010xx97x4xx	包括-A	27	54	109	3,056	2,259	1,920	17
18						3	x	x	010010xx97x3xx	包括-B	16	33	71	2,671	1,974	1,678	18
19						2	x	x	010010xx97x2xx	出来高							19
20						1	x	x	010010xx97x1xx	包括-A	23	51	125	2,904	2,223	1,889	20
21						0	1	x	010010xx97x01x	包括-B	18	37	86	2,653	1,975	1,679	21
22						0	0	x	010010xx97x00x	包括-B	8	19	48	2,743	2,116	1,799	22
23					99	1	8	x	x	010010xx9918xx	出来高						23
24						7	x	x	010010xx9917xx	出来高							24
25						6	x	x	010010xx9916xx	出来高							25
26						5	x	x	010010xx9915xx	出来高							26
27						4	x	x	010010xx9914xx	出来高							27
28						3	x	x	010010xx9913xx	出来高							28
29						2	x	x	010010xx9912xx	包括-A	5	10	20	4,643	3,432	2,917	29
30						1	x	x	010010xx9911xx	出来高							30
31						0	x	x	010010xx9910xx	包括-A	2	4	9	3,927	2,918	2,480	31
32					0	8	x	x	010010xx9908xx	出来高							32
33						7	x	x	010010xx9907xx	包括-B	17	36	74	4,061	3,052	2,594	33
34						6	x	x	010010xx9906xx	出来高							34
35						5	1	x	010010xx99051x	包括-A	8	23	61	3,244	2,600	2,210	35
36						0	x	x	010010xx99050x	包括-B	5	12	36	4,597	2,412	2,050	36
37						4	x	x	010010xx9904xx	包括-A	15	29	61	2,962	2,190	1,861	37
38						3	x	x	010010xx9903xx	出来高							38
39						2	1	x	010010xx99021x	包括-B	11	22	52	3,791	1,870	1,590	39
40						0	0	x	010010xx99020x	包括-B	4	12	31	4,794	2,624	2,230	40
41						1	x	x	010010xx9901xx	包括-A	11	34	88	2,735	2,210	1,878	41
42						0	1	x	010010xx99001x	包括-B	7	21	54	2,563	2,050	1,743	42
43						0	0	x	010010xx99000x	包括-B	3	9	27	3,242	2,059	1,750	43

→定義表項目

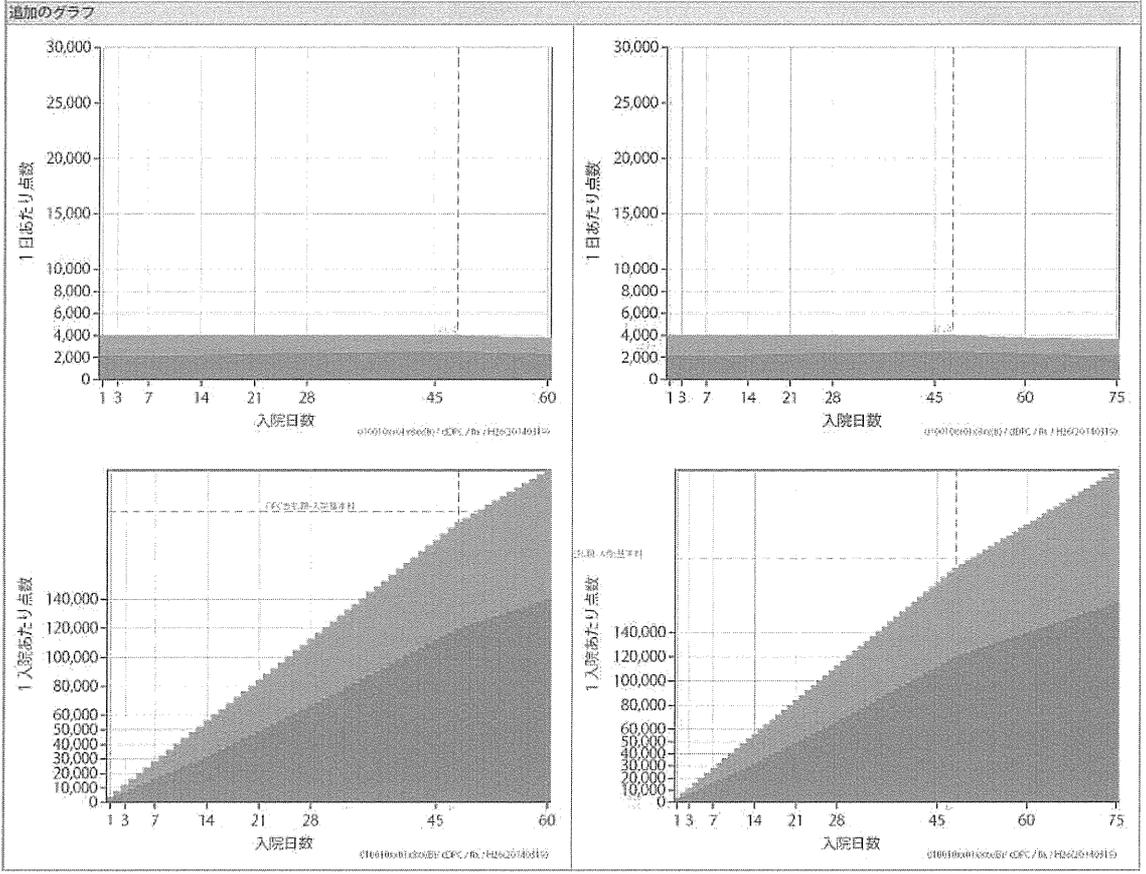
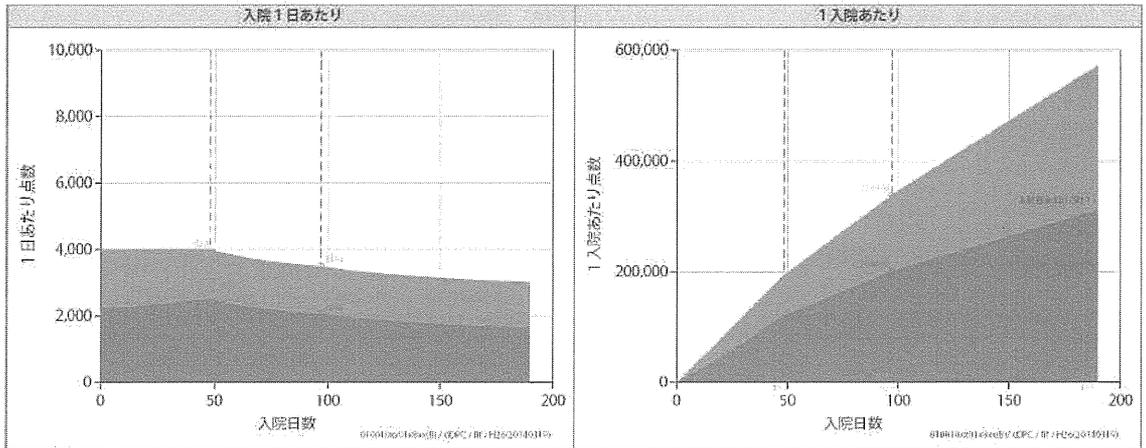
処置等2：コード/フラグの最大値/内容	定義副傷病：コード/フラグ/DPC6
8 11 テモゾロミド（注射薬に限る。）	1 3 010080 脳脊髄の感染を伴う炎症
7 10 テモゾロミド（内服薬による初発の初回治療に限る。）	1 2 070040 骨の悪性腫瘍（脊椎を除く。）
6 9 メトトレキサート（注射薬に限る。）	1 2 070140 脳性痙攣
5 8 化学療法ありかつ放射線療法なし	1 1 040080 肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎
4 7 化学療法ありかつ放射線療法あり	1 1 040081 誤嚥性肺炎
3 6 化学療法なしかつ放射線療法あり	1 1 130070 白血球疾患（その他）
2 4 SPECT/ボジトロン断層撮影	
1 2 中心静脈注射/人工呼吸	

図3. 傷病分類ごとに定義されている傷病名・定義副傷病名と手術・処置等

010010: 脳腫瘍: 定義表項目		H26DPC分類
		←010010: 支払分類 ↑MDC01
手術: コード/フラグ/内容		傷病: ICD10コード/傷病名(赤字は新生物関係)
01 01	広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術(K151-2)	C700 脳髄膜の悪性新生物
01 01	頭蓋内腫瘍摘出術(K167)	C709 髄膜の悪性新生物, 部位不明
01 01	頭蓋内腫瘍摘出術: 松果体部腫瘍(K1691)	C715 脳の悪性新生物
01 01	頭蓋内腫瘍摘出術: その他のもの(K1692)	C722 嗅神経の悪性新生物
01 01	経耳的聴神経腫瘍摘出術(K170)	C723 視神経の悪性新生物
01 01	経鼻的下垂体腫瘍摘出術(K171)	C724 聴神経の悪性新生物
01 01	内視鏡下経鼻的下垂体腫瘍摘出術(K171-2)	C793 脳および脳髄膜の統括悪性新生物
01 02	機能的定位脳手術: 片側の場合(K1541)	D320 脳髄膜の良性新生物
01 02	機能的定位脳手術: 両側の場合(K1542)	D329 髄膜の良性新生物, 部位不明
01 03	顔面神経麻痺形成手術: 静的なもの(K0111)	D330 脳の良性新生物, テント上
01 03	顔面神経麻痺形成手術: 動的なもの(K0112)	D331 脳の良性新生物, テント下
01 05	減圧前頭術: その他の場合(K1492)	D332 脳の良性新生物, 部位不明
01 06	脳切除術(K168)	D333 脳神経の良性新生物
01 07	脳腫瘍摘出術(K150)	D337 中枢神経系のその他の明示された部位の良性新生物
01 08	頭蓋骨腫瘍摘出術(K161)	D339 中枢神経系の良性新生物, 部位不明
97 04	穿頭脳室ドレナージ術(K145)	D420 脳髄膜の性状不詳または不明の新生物
97 09	脳刺激装置交換術(K181-2)	D429 髄膜の性状不詳または不明の新生物, 部位不明
97 10	脊髄刺激装置植込術(K190)	D430 脳の性状不詳または不明の新生物, テント上
97 11	脊髄刺激装置交換術(K190-2)	D431 脳の性状不詳または不明の新生物, テント下
97 13	水頭症手術: 脳室穿破術(神経内視鏡手術によるもの)(K1741)	D432 脳の性状不詳または不明の新生物, 部位不明
97 13	水頭症手術: シャント手術(K1742)	D433 脳神経の性状不詳または不明の新生物
97 14	頭蓋骨形成手術: 頭蓋骨のみのもの(K1801)	D437 中枢神経系のその他の部位の性状不詳または不明の新生物
97 14	頭蓋骨形成手術: 硬膜形成を伴うもの(K1802)	D439 中枢神経系のその他の部位の性状不詳または不明の新生物, 部位不明
97 14	頭蓋骨形成手術: 骨移動を伴うもの(K1803)	G131 新生物性疾患における主に中枢神経系を障害するその他の系統萎縮症
97 15	脊髄硬膜切開術(K183)	G132 粘液水腫における主に中枢神経系を障害する系統萎縮症
97 16	減圧脊髄切開術(K184)	
97 17	髄液漏閉鎖術(K179)	定義副傷病: コード/フラグ/DPC6
97 18	定位脳腫瘍生検術(K154-3)	1 3 010080 脳脊髄の感染を伴う炎症
97 97	定義テーブルにない手術(KKK1)	1 2 070040 骨の悪性腫瘍(骨髄を除く。)
99 99	手術なし(KKK0)	1 2 070140 脳性麻痺
処置等1: コード/フラグ/内容		1 1 040080 肺炎, 急性気管支炎, 急性細気管支炎
1 1	造影剤注入手技: 動脈造影力テーテル法: 主要血管の分枝血管を選択的に造影撮影した場合(E00334)	1 1 040081 誤嚥性肺炎
処置等2: コード/フラグの最大値/内容		1 1 130070 白血球疾患(その他)
8 11	テモゾロミド(注射薬に限る。)	
7 10	テモゾロミド(内服薬による初発の初回治療に限る。)	
6 9	メトトレキサート(注射薬に限る。)	
5 8	化学療法ありかつ放射線療法なし	
4 7	化学療法ありかつ放射線療法あり	
3 6	化学療法なしかつ放射線療法あり	
2 4	SPECT/ボジトロン断層撮影	
1 2	中心静脈注射/人工呼吸	

図4. 入院日数別の包括払い額(入院1日あたり/1入院あたり)

010010xx01x8xx : 脳腫瘍										↑010010 : 支払分類 →定義表示					
DPC14	DPC6	入院目的	年齢等	手術	処置等1	処置等2	副傷病	重症度等	支払方法	入院期間 I	入院期間 II	入院期間 III	点数 I	点数 II	点数 III
010010xx01x8xx	010010	x	x	01	x	8	x	x	包括	48	97	189	4,024	2,974	2,528
傷病・年齢等		脳腫瘍													
手術		01 頭蓋内腫瘍摘出術等													
処置等1		x													
処置等2		8 テモソロミド (注射薬に限る。)													
副傷病		x													
重症度等		x													



Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
石川ベンジャミン 光一, 伏見清秀, 松田晋哉		石川ベンジャミン 光一, 伏見清秀, 松田晋哉	平成24年度がん研究開発費石川班DPC調査データに基づくがん入院・外来化学療法ポートフォリオ	じほう	東京	2014	
石川ベンジャミン 光一, 伏見清秀, 松田晋哉, 若尾文彦.			厚生労働省平成23年度DPC調査データに基づく地域病院ポートフォリオ	じほう	東京	2013	

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Oda, A., Kuwabara, H., Fushimi, K.	Disparities associated with breast reconstruction in Japan.	Plast Reconstr Surg	132(6)	1392-1399	2013
Sayuri Shimizu, S., Fushimi, K.	Impact of comorbid depression on medical resource use and in-hospital death of patients with heart failure: A nationwide retrospective cohort study.	Experimental & Clinical Cardiology.	Autumn	1-5	2013
Inoue, T., Fushimi, K.	Stroke Care Units Versus General Medical Wards for Acute Management of Stroke in Japan.	Stroke	44(11)	3142-7	2013
Kunisawa S, Morishima T, Ukawa N, Ikai H, Otsubo T, Ishikawa KB, Yokota C, Minematsu K, Fushimi K, Imanaka Y.	The association of geographical factors with administration of tissue plasminogen activator for acute ischemic stroke.	Journal of American Heart Association	2(5)		2013
Yasunaga H, Horiguchi H, Kuwabara K, Matsuda S, Fushimi K, Hashimoto H, Ayanian JZ.	Outcomes After Laparoscopic or Open Distal Gastrectomy for Early-stage Gastric Cancer: A Propensity-matched Analysis.	Ann Surg	257(4)	640-646	2013

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yasunaga H, Horiguchi H, Matsuda S, Fushimi K, Hashimoto H, Ayanian JZ.	Body mass index and outcomes following gastrointestinal cancer surgery in Japan: A retrospective cohort study.	Brit J Surg	100	1335-1343	2013
Yasunaga H, Horiguchi H, Hashimoto H, Matsuda S, Fushimi K.	Effect and Cost of Treatment for Acute Pancreatitis With or Without Gabexate Mesylate: A Propensity Score Analysis Using a Nationwide Administrative Database.	Pancreas	42(2)	260-264	2013
Akiyama T, Chikuda H, Yasunaga H, Horiguchi H, Fushimi K, Saita K.	Incidence and Risk Factors for Mortality of Vertebral Osteomyelitis: A Retrospective Analysis Using the Japanese Diagnosis Procedure Combination Database.	BMJ Open	3(3)		2013
Chikuda H, Yasunaga H, Horiguchi H, Takeshita K, Sugita S, Taketomi S, Fushimi K, Tanaka S.	Impact of Age and Comorbidity Burden on Mortality and Major Complications in Older Adults Undergoing Orthopaedic Surgery: An Analysis Using the Japanese Diagnosis Procedure Combination Database.	BMC Musculoskeletal Disorders	14(1)	173	2013
Fukuda T, Yasunaga H, Horiguchi H, Ohe K, Fushimi K, Matsubara T, Yahagi N.	Health care costs related to out-of-hospital cardiopulmonary arrest in Japan.	Resuscitation	284(7)	964-969	2013
Hamada T, Yasunaga H, Nakai Y, Isayama H, Horiguchi H, Matsuda S, Fushimi K, Koike K.	Rarity of severe bleeding and perforation in endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration for submucosal tumors.	Digestive Diseases Science	58	2634-2638	2013
Hamada T, Yasunaga H, Nakai Y, Isayama H, Horiguchi H, Matsuda S, Fushimi K, Koike K.	Continuous regional arterial infusion for acute pancreatitis: A propensity score analysis using a nationwide administrative database.	Critical Care	17(5)	R214	2013

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Nakamura M, Yasunaga H, Ando S, Haraguchi T, Sugihara T, Horiguchi H, Ohe K, Matsuda S, Fushimi K.	Length of mechanical restraint following haloperidol injections versus oral atypical antipsychotics for the initial treatment of acute schizophrenia: A Propensity-Matched Analysis from the Japanese Diagnosis Procedure Combination Database.	Psychiatry Research	209(3)	412-416	2013
Nakamura M, Yasunaga H, Shimada T, Horiguchi H, Matsuda S, Fushimi K.	Body mass index and in-hospital mortality in anorexia nervosa: data from the Japanese Diagnosis Procedure Combination Database.	Eating and Weight Disorders	18(4)	437-439	2013
Ogura K, Yasunaga H, Horiguchi H, Ohe K, Shinoda Y, Tanaka S, Kawano H.	Incidence and risk factors for postoperative pulmonary embolism following primary musculoskeletal tumor surgery: A analysis of a national administrative database.	Clin Orthop Relat Res	471	3310-3316	2013
Ogura K, Yasunaga H, Horiguchi H, Ohe K, Shinoda Y, Tanaka S, Kawano H.	Impact of Hospital Volume on Postoperative Complications and In-hospital Mortality after Musculoskeletal Tumor Surgery: Analysis of a National Administrative Database.	J Bone Joint Surg Am	95(18)	1684-1691	2013
Sugihara T, Yasunaga H, Horiguchi H, Nishimatsu H, Kume H, Ohe K, Matsuda S, Fushimi K, Homma Y.	A Nomogram Predicting Severe Adverse Events after Ureteroscopic Lithotripsy: 12,372 Patients in Japanese National Series.	BJU Int	111(3)	459-466	2013
Sugihara T, Yasunaga H, Horiguchi H, Fujimura T, Nishimatsu H, Kume H, Ohe K, Matsuda S, Fushimi K, Homma Y.	Is mechanical bowel preparation in laparoscopic radical prostatectomy beneficial? An analysis of a Japanese national database.	BJU Int	112(2)	E76-81.	2013

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Sugihara T, Yasunaga H, Horiguchi H, Fujimura T, Nishimatsu H, Tsuru N, Kazuo S, Ohe K, Fushimi K, Homma Y.	Regional, institutional and individual factors affecting selection of minimally invasive nephroureterectomy in Japan: A national database analysis.	Int J Urol	81(1)	74-79	2013
Sugihara T, Yasunaga H, Horiguchi H, Tsuru N, Ihara H, Fujimura T, Nishimatsu H, Ohe K, Fushimi K, Homma Y.	Comparisons of perioperative outcomes and costs between open and laparoscopic radical prostatectomy: a propensity-score matching analysis based on the Japanese Diagnosis Procedure Combination database.	Int J Urol	20	349-353	2013
Sugihara T, Yasunaga H, Horiguchi H, Fujimura T, Nishimatsu H, Ohe K, Matsuda S, Fushimi K, Kattan MW, Homma Y.	Does Mechanical Bowel Preparation Improve Quality of Laparoscopic Nephrectomy? Propensity Score-matched Analysis in Japanese Series.	Urology	81(1).	74-79	2013
Sugihara T, Yasunaga H, Horiguchi H, Tsuru N, Fujimura T, Nishimatsu H, Kume H, Ohe K, Matsuda S, Fushimi K, Homma Y.	Wide Range and Variations in Minimally Invasive Surgery For Renal Malignancy in Japan: A Population Based Analysis.	Int J Clin Oncol	18	1070-1077	2013
Takeuchi M, Yasunaga H, Horiguchi H, Hashimoto H, Matsuda S.	Pyloromyotomy versus intravenous atropine therapy for the treatment of infantile pyloric stenosis: an analysis using nationwide hospital discharge database.	Pediatrics International	55(4)	488-491	2013
Takeuchi M, Yasunaga H, Horiguchi H, Matsuda S.	The Burden of Epiglottitis Among Japanese Children Before the Vaccination Era: an Analysis Using a Nationwide Administrative Database.	Journal of Infection and Chemotherapy	19	876-879	2013

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Tsugawa Y, Kumamaru H, Yasunaga H, Hashimoto H, Horiguchi H, Ayanian JZ.	The Association of Hospital Volume with Mortality and Costs of Care for Acute Stroke in Japan.	Medical Care	51	782-788	2013
Chikuda H, Yasunaga H, Takeshita K, Horiguchi H, Kawaguchi H, Ohe K, Fushimi K, Tanaka S.	Mortality and morbidity after high-dose methylprednisolone treatment in patients with acute cervical spinal cord injury: A propensity matched analysis using a nationwide administrative database.	Emergency Medicine Journal	31(3)	201-206	2014
Chikuda H, Yasunaga H, Takeshita K, Horiguchi H, Kawaguchi H, Fushimi K, Tanaka S.	Ischemic Stroke after Cervical Spine Injury: Analysis of 11,005 Patients Using the Japanese Diagnosis Procedure Combination Database.	Spine Journal	[Epub ahead of print]		2014
Hamada T, Yasunaga H, Nakai Y, Isayama H, Horiguchi H, Fushimi K, Ohe K, Koike K.	Japanese Severity Score for Acute Pancreatitis Well Predicts In-hospital Mortality: A Nationwide Survey of 17,901 Cases.	Journal of Gastroenterology	48(12)	1384-1391	2013
Hamada T, Yasunaga H, Nakai Y, Isayama H, Horiguchi H, Matsuda S, Fushimi K, Koike K.	Severe bleeding and perforation are rare complications of endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration for pancreatic masses: An analysis of 3,090 patients from 212 hospitals.	Gut and Liver	8(2)	215-218	2013
Iwagami M, Yasunaga H, Doi K, Horiguchi H, Fushimi K, Matsubara T, Yahagi N, Noiri E.	Postoperative Polymyxin B Hemoperfusion and Mortality in Patients with Abdominal Septic Shock: A Propensity-Matched Analysis.	Crit Care Med	42(5)	1183-1193	2014
Sato M, Tateishi R, Yasunaga H, Horiguchi H, Yoshida H, Matsuda S, Fushimi K, Koike K.	Acute liver disease in Japan – a nationwide analysis of the Japanese Diagnosis Procedure Combination database.	J Gastroenterol	49(3)	547-554	2014

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Sako A, Yasunaga H, Horiguchi H, Fushimi K, Yanai H, Uemura N.	Prevalence and In-hospital Mortality of Gastrostomy and Jejunostomy in Japan: A Retrospective Study Using a National Administrative Database.	Gastrointestinal Endoscopy	[Epub ahead of print]		2014
Sugihara T, Yasunaga H, Horiguchi H, Fujimura T, Fushimi K, Yu C, Kattan M, Homma Y.	Factors Affecting the Choice of Ureterostomy, Ileal Conduit and Continent Reservoir after Radical Cystectomy: Japanese Series.	Int J Clin Oncol	[Epub ahead of print]		2014
Sugihara T, Yasunaga H, Horiguchi H, Fujimura T, Nishimatsu H, Kumabe H, Ohe K, Matsuda S, Fushimi K, Homma Y.	Relationship Between Operation Time and Severe Complications After Percutaneous Nephrolithotomy: 1511 Cases in Japanese Nationwide Database.	Int J Urol	[Epub ahead of print]		2014
Sugihara T, Yasunaga H, Horiguchi H, Matsuda S, Fushimi K, Kattan M, Homma Y.	Does mechanical bowel preparation ameliorate damage from rectal injury in radical prostatectomy? Analysis of 151 rectal injury cases.	Int J Urol	[Epub ahead of print]		2013
Sumitani M, Yasunaga H, Uchida K, Horiguchi H, Nakamura M, Ohe K, Fushimi K, Matsuda S, Yamada Y.	Perioperative factors affecting the occurrence of acute complex regional pain syndrome following limb bone fracture surgery: Data from the Japanese Diagnosis Procedure Combination database.	Rheumatology	[Epub ahead of print]		2013
Uchida K, Yasunaga H, Sumitani M, Horiguchi H, Fushimi K, Yamada Y.	Effects of Remifentanyl on In-hospital Mortality and Length of Stay Following Clipping of Intracranial Aneurysm: A Propensity Score Matched Analysis.	J Neurosurg Anesth	[Epub ahead of print]		2014
Uematsu H, Hashimoto H, Iwamoto T, Horiguchi H, Yasunaga H.	Impact of guideline-concordant microbiological testing on outcomes of pneumonia.	Int J Quality Health Care	26(1)	100-107	2014

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yoshioka R, Yasunaga H, Hasegawa K, Horiguchi H, Fushimi K, Aoki T, Sakamoto Y, Sugawara Y, Kokudo N.	Hospital volume affects in-hospital mortality, length of stay, and total costs after pancreaticoduodenectomy: Analysis of data from 10,652 patients from the Japanese Diagnosis Procedure Combination database.	Brit J Surg	[Epub ahead of print]		2013

參考資料集

参考資料集の使い方